

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。  
 検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で14,400cells/ml、シャットネラ属が280cells/ml、ケラチウム属が6cells/ml、確認されました。  
**カレニア・ミキモトイは減少傾向であるものの、依然として浦ノ内湾の主要養殖漁場を中心に漁業被害が想定される密度を大きく超えており、シャットネラ属は増加傾向で漁業被害が想定される密度を超えている地点がありました。また、浦ノ内湾の広範囲で海水の着色が確認されました。**

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	0.5m	0	6	280	わずか
	2m	0	0	87	わずか
	5m	0	0	0	わずか
中学校前	0.5m	11	0	2	わずか
	2m	0	3	0	わずか
	5m	0	0	0	わずか
目ノクソ	0.5m	1	5	3	わずか
	2m	5	6	3	わずか
	5m	0	2	0	わずか
光松	0.5m	3,600	1	5	わずか
	2m	2,400	2	2	わずか
	5m	0	0	0	わずか
大鹿	0.5m	14,400	1	10	わずか
	2m	240	2	3	わずか
	5m	1	1	1	わずか
宇佐漁場	1.5m	2,800	0	1	わずか
	5m	80	0	1	わずか
市場前	1.8m	120	0	3	わずか

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

